



平成 23 年 11 月 11 日

各 位

会 社 名 大和自動車交通株式会社
代表者名 取締役社長 新倉 能文
(コード番号 9082 東証第 2 部)
問合せ先 経理部長 加藤雄二郎
(TEL. 03 - 6757- 7164)

子会社の減損損失（特別損失）の計上及び平成 24 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の
業績予想値と実績値との差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社である大和自動車王子(株)は、平成 24 年 3 月期第 2 四半期（平成 23 年 6 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日）において、下記のとおり減損損失を計上するとともに、平成 23 年 5 月 16 日に公表しました平成 24 年 3 月期第 2 四半期の業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成 24 年 3 月期通期の業績予想について修正しますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 当該子会社の概要

商 号 : 大和自動車王子株式会社
所 在 地 : 東京都北区豊島 5 丁目 1 番 32 号
代 表 者 : 代表取締役 宮野 隆幸
主 な 事 業 内 容 : 旅客自動車運送事業
資 本 金 : 10 百万円

2. 減損損失の内容

連結子会社大和自動車王子(株)保有の固定資産の売却見通しの変化に伴い、下記土地について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を当第 2 四半期の連結損益計算書において特別損失として固定資産減損損失104百万円を計上することといたしました。

用途	種類	場所	減損損失計上額
遊休資産 (タクシー営業所)	土地	東京都練馬区氷川台 2-132-11	104 百万円

3. 業績予想数値の訂正

平成 24 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 8,500	百万円 300	百万円 120	百万円 1,650	円 銭 165.47
今 回 修 正 予 想 (B)	8,543	486	323	1,490	149.45
増 減 額 (B-A)	43	186	203	△159	—
増 減 率 (%)	0.5	62.1	169.6	△9.7	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 3 月期第 2 四半期)	9,572	325	99	△362	△36.32

平成 24 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 17,500	百万円 750	百万円 450	百万円 1,850	円 銭 185.52
今回修正予想(B)	17,500	900	600	2,100	210.59
増減額(B-A)	—	150	150	250	—
増減率(%)	—	20.0	33.3	13.5	—
(ご参考)前期実績 (平成 23 年 3 月期)	18,615	810	432	△313	△31.42

平成 24 年 3 月期第 2 四半期(累計)個別業績予想数値の修正 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,600	百万円 30	百万円 1,200	円 銭 120.34
今回修正予想(B)	4,634	217	1,122	112.56
増減額(B-A)	34	187	△77	—
増減率(%)	0.7	626.2	△6.5	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 3 月期第 2 四半期)	5,319	△58	△422	△42.40

平成 24 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 9,500	百万円 230	百万円 1,300	円 銭 130.37
今回修正予想(B)	9,500	370	1,180	118.33
増減額(B-A)	—	140	△120	—
増減率(%)	—	60.9	△9.2	—
(ご参考)前期実績 (平成 23 年 3 月期)	10,205	66	△558	△56.02

修正の理由

当第 2 四半期累計期間の連結業績は、売上高につきましては概ね予定通り推移しており、売上高の若干の増加に加え固定費の削減及び業務の効率化等による経費の抑制から、営業利益、経常利益は予定より増加する見込みであります。しかしながら、四半期純利益につきましては上記特別損失の計上などにより、予想値を下回る見込みであります。

個別業績につきましても、上記連結業績予想の要因と同様であり、経常利益は予定より増加する見込みであります。

また、通期業績予想(連結・個別)につきましては、第 2 四半期累計期間の業績を踏まえ、当初の業績予想を修正させていただき、連結業績における当期純利益につきましては、平成 23 年 9 月 30 日にお知らせしました固定資産の譲渡における特別利益の発生を織り込み、当初予定より増加する見込みであります。

以 上